

平成29年度
事業報告書

公益財団法人 防府市文化振興財団

平成29年度 公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

平成29年度は、防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリー、防府市立防府図書館の5施設に10月から山頭火ふるさと館が加わりました。

従来の5施設についてはこれまでの実績を検証するとともに、より利用しやすい施設運営に努めました。新たな山頭火ふるさと館については観光エリアに位置していることから「うめてらす」等と連携しながら集客に努めてまいりました。

以上、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる多彩な事業を企画運営することにより、多くの来場者をお迎えし、防府市の文化振興を図りました。

II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「防府まちづくりプラン2020」に沿った文化・芸術活動の推進、並びに図書館運営事業による生涯学習を推進するため、山頭火ふるさと館を加えた所管する6施設のあり方を検討し、それぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業についても、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

(1) 鑑賞事業（資料1頁～4頁参照）

① 音楽鑑賞事業

平成29年度は、自主事業9事業11公演、受託事業3事業12公演、合計12事業23公演のクラシックからポップス、伝統芸能、それ以外のジャンルと多岐にわたる事業を展開し、合計で1万1千人を超える方にご参加いただきました。

ア 自主事業

ブリヂストン吹奏楽団久留米、稲垣潤一、山形由美&Jスコラーズの各コンサートを開催しました。音楽以外のジャンルでは、三谷幸喜トークショー、鈴々舎

馬るこ真打昇進披露興行、吉本新喜劇&バラエティショー、セルビア・ローラ民族音楽舞踊団公演なども開催しました。

また、今回で5回目となる「響け！防府ハーモニー 全国大会出場記念コンサート」を防府市と共同で開催し、全国大会に出場した小学校2校、中学校2校、高等学校1校がその腕前を市民に披露しました。

イ 受託事業

防府市出身でドイツ在住の世界的ピアニスト原田英代とミュンヘン国際コンクール優勝者のイェンス＝ペーター・マインツを迎え、円熟のデュオリサイタルを開催しました。息のあった演奏で、会場は美しい音色に包まれました。

また、「ながと近松文化講座 文楽への扉 in 防府」と題して、文楽公演を鑑賞するための講座を長門市文化振興財団と共同で開催しました。人形浄瑠璃文楽の魅力をわかりやすく解説するとともに、平成30年7月8日（日）にルネッサながとで開催される「出世景清」のあらすじと見どころが紹介され、反響を呼びました。

ウ 防府音楽祭（受託事業）

第17回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでもらえるよう1月5日（金）から8日（月・祝）までの4日間開催しました。

初日の「街角コンサート」では、山頭火ふるさと館、萬行寺、防府市議会棟議場、サンライフ防府、桑陽病院、天神ピア、防府市地域協働支援センターの市内7か所出張コンサートを行い、各会場とも多くのお客様にご来場いただきました。今回初めて「街角コンサートスタンプラリー」を開催したところ、全会場を巡り鑑賞して下さった方もあり、好評を博しました。

2日目にアスピラート市民スペースで開催した「プロムナードコンサート」では、“ソロとデュオ”をテーマにバリトン、ソプラノ、オーボエのプログラムを組み、オペラの二重唱曲や本公演のためにアレンジされた曲など、魅力的な作品を披露しました。入場無料の街角コンサート、プロムナードコンサートは900人を超える来場者で賑わい、幅広い年代の市民の皆様に、気軽にクラシックの生演奏を楽しんでいただくことができました。

また、小学校から高等学校までの児童・生徒から社会人まで87人が集った「管・打楽器特別公開クリニック」では、フルート、オーボエ、打楽器など10パートのクリニックを行い、プロの奏者から基礎と共に楽器に対する姿勢などについても指導を受けました。

3日目の「わくわく夢の響演コンサート」では、田村響氏によるベートーヴェンのピアノソナタ「熱情」、すぎやまこういち&東京メトロポリタン・ブラス・ク

インテットによるドラゴンクエストの音楽をお届けするとともに、山口市の作曲家・岡田昌大氏の組曲「金子みすゞ」をソプラノ、バリトン、こども合唱、オーケストラによって初演し、新しい音楽を発信しました。

最終日の「ファイナルコンサート」では、ヴィヴァルディの合唱宗教曲、チェロ協奏曲、ピアノ協奏曲、そしてクラシック名曲選という多彩なプログラムで観客を魅了し、今年の防府音楽祭も大いに盛り上がりました。

市民参加型として定着している防府音楽祭は、(独)日本芸術文化振興会からの高い評価を受け、引き続き今回も助成を頂いております。

② 美術鑑賞事業

企画展を6回、美術鑑賞バスを1回開催しました。

ア 自主事業

夏休みに開催しました防府市立防府図書館との連携事業「絵本作家 田頭よしたかのおもちゃばこ展」では、画業45年を迎えた田頭よしたか氏(防府市出身)の絵本原画やイラストを「おもちゃばこ」から飛び出したような世界観で展示しました。防府市が舞台の絵本を中心に、貴重な資料を初公開するだけでなく、市民スペースでは段ボールアートによる体験コーナーも用意して、様々な年代の来場者が楽しめる内容としました。

y a b 山口朝日放送との共同企画展「ふるさとの匠たち 第10回腕前探訪」は、地元の職人の技を紹介するイベントとして定着しています。会期中に台風が直撃するなど悪天候にもかかわらず、4日間で6,567人の来場者で賑わいました。

「印象派展～巨匠たちの愛した版画の世界」では、印象派の画家たちをはじめ、バルビゾン派やナビ派などその周辺の作家による作品131点を展示しました。19世紀から20世紀における美しいフランス版画芸術を鑑賞できる企画展でしたが、22日間の会期中の来場者は延べ2,020人と少なく、今後の課題となりました。

山口県出身・在住の現役デザイナーによる山口県の小中高生を対象にしたポスターデザインプロジェクト「瀬戸内デザイングランプリ」は2回目となります。「さかな」をテーマとしたユニークで楽しい子どもたちのアイデアによるポスターを募集し、応募総数894点のうち入賞作品238点を展示しました。

「アスピラートでクリスマス!2017」は、地元商工会議所や近隣の商業施設などと連携して実施しています。「冬」と「灯り」をテーマにした作品を展示する「冬灯り展」のほかに、毎年恒例となっているクリスマスコンサート「灯りの下でコンサート」には約200人も来場者がありました。また、地域の商店や防府商工高等学校とも連携し、プロジェクションマッピングを制作・投影し好評

を博しました。

イ 受託事業

9月に開催しました「^{らんる}襷・ぼろ展一語りつぐ藍と愛」では、防府市在住の藍染作家・飴村秀子氏の企画監修のもと、広島県の古布蒐集家・故水野義之氏が築いた「寶水堂コレクション」の貴重なコレクションを展示し、ジャパン・ブルーの原点である「襷」の価値を再認識しました。経年の美しさや母親の手織いの愛情、物を大切に美しい暮らしを心がけた日本人の美意識を感じる古布展示とともに、飴村氏の、「BORO」をモチーフにした新作も発表し、市民の皆様から大きな反響がありました。

また、毎年恒例の美術鑑賞バスは2回企画しましたが、7月6日（木）に予定しました久留米市美術館、佐賀県立美術館・博物館への訪問は、九州北部豪雨により、安全を配慮して急遽中止としました。11月30日（木）には、福岡市博物館、北九州市立美術館を訪問し、「普段見ることの出来ない文化財や美術品を鑑賞する機会を提供する」という目的を達成できました。美術鑑賞バスは、毎年、参加者の満足度が高い事業となっています。

（2）育成事業（資料4頁～5頁参照）

① 音楽育成事業

こども合唱教室、弦楽合奏教室、吹奏楽教室、合唱教室を継続事業として年間を通して開催し、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただきました。また、チェンバロ講座も継続して実施しました。

② 美術育成事業

現役の小学校の図工担当教諭等が企画、指導を行う造形ワークショップ「ゆめあーとひろば」を昨年に引き続き開催しました。6講座開催し、例年同様全講座とも満員の盛況ぶりとなりました。この事業は、(独)国立青少年教育振興機構の助成を受けて開催しております。

（3）普及事業（資料5頁参照）

① 音楽普及事業

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を毎年講師に迎えての音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記は「世界の一流オーケストラ～ウィーン・フィルとベルリン・フィルの違い？」を、さらに、毎年様々な楽器について学ぶセミナーでは「クラリネットを語る『クラリネットは大家族？』」を開催し、好評を博しました。

（4）発表・支援事業（資料6頁参照）

① 音楽発表・支援事業

市民参加型の発表会「フェスタ・アスピラート音楽部門」は、出演者39団体450人が参加し、来場者は例年同様に2,000人を超えました。県内でも大変珍

しい市民参加型イベントとして定着しています。

また、当財団の各育成教室を母体とする防府吹奏楽団、防府少年少女合唱団の各定期演奏会、地元出身の作曲家大村能章を記念して開催される「能章まつり」、防府市出身の女優で俳人でもある藤田三保子氏による講演と朗読が行われた「全国山頭火フォーラム」の開催を支援しました。

② 美術発表事業

「フェスタ・アスピラート美術部門 なんでも写真コンテスト」は、「びっくり」をテーマとして開催しました。138点もの作品の応募があり、全作品をアスピラート市民スペースに展示するとともに、来場者による投票と写真家、協賛者による審査を行い、アスピラート大賞など各賞を決め表彰しました。

(5) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう、各施設が連携をとりながら利用促進を図りました。

① 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなう管理運営に努めました。

ア 施設整備

屋内消火栓設備（スプリンクラー設備）の修理を行い、会館を安全にご利用いただけるように整備すると共に、照明操作卓の無停電電源装置を更新するなどして、トラブルに対するバックアップ体制も整えました。

その他の施設・設備については、老朽化したものも含め、定期的な保守管理を行うことにより良好な状態を保っております。

施設全般に発生している経年劣化による不具合については、今後行われる改修工事に合わせて更新を計画し、また工事内容については市民の声をできる限り形にできるように防府市と常に情報を共有して進めています。

緊急時の対策については、危機管理マニュアルに基づいた災害時のお客様の誘導方法、特に大ホールにたくさんの来場者がある場合を想定して取り組みました。

イ 利用状況（資料7頁参照）

前年度に比べ、利用率が3%減少しました。減少の要因としては、大ホールにおいて隔年で開催される大きな大会の谷間であることと、前年度に比較してプロモーターが主催するコンサートが減少した点が挙げられます。

なお、大ホール以外の施設は、楽器の練習やサークル活動、子ども達を対象にした教室等の利用が定着しており、今後も施設全体を活用できるように努めてまいります。

本年度の利用率は30%、利用人数は50,989人でした。

② 防府市地域交流センター

誰もが利用しやすい施設となるように、以下のとおり管理運営を行いました。

ア 施設整備

本年度は、利用率の高い練習室のギターアンプが防府市において更新されました。これにより、お客様により良い環境で演奏を楽しんでいただくことが可能になりました。

さらに平成30年度の事業計画予定としていましたWi-Fi環境の整備について、前倒しで30年3月から利用できるようになりました。時間の制限はありますが、1階市民スペース及び2階ロビーの一部において、インターネットが無料でご利用できるようになりました。

また、提案ノート制度による活発な職員提案がなされ、フリーWi-Fi設置や作業改善・省エネにつながりました。

8月には施設の裏側を見学するバックステージツアーを開催しました。ツアーでは、これまで小中学生を対象としていましたが、近年、参加者が減少しており、来年度は全年齢を対象とすることも検討しています。クリスマスシーズンには、毎年恒例となっているイルミネーションを設置しました。プロジェクションマッピングやクリスマスコンサートとも相まって、多くのお客様に喜んでいただきました。

なお、平成29年度から、地域交流センターと青少年科学館では電力の調達コスト削減のため、入札により電力供給業者を決定しています。

イ 利用状況（資料8頁参照）

利用率については、前年度（77%）を下回り70%となりました。利用人数についても、前年度を38,737人下回る86,180人となりました。減少の要因としては、平成28年度の夏に実施した事業（チームラボアイランド）のように長期かつ財団設立以来の来館者数を記録するような大型の催事がなかったことが挙げられます。他のご利用は前年並みで推移いたしました。

なお、利用率の内訳としては、音楽ホール64%、リハーサル室79%、展示ホール65%、練習室84%となっています。

2 山頭火ふるさと館運営事業

（1）管理運営事業

山頭火ふるさと館の案内や催し等について、来館者や市民に親しまれる館運営をおこないました。

① 案内業務

山頭火ふるさと館には、無料ゾーンと有料ゾーンがあり、入館時に料金を支払う

のかなど、戸惑われるお客様が多くいらっしゃったため、受付カウンターには常時職員を配置し、来館者に対して分かりやすく施設の案内をしました。また、必要に応じて周辺の観光施設についてもご案内しました。

② ふるさと展示交流室の運營業務

交流室については、通常は多くのお客様に気軽に利用していただけるスペースとして無料開放し、パネルや映像を使用した山頭火とそのふるさと防府の情報発信に努めました。

交流室を専用して使用するための申請があったときは、市の条例及び規則に基づいて、使用許可等の事務を適正に実施しました。

③ 広報活動

全国におられる山頭火ファンに向けて、ホームページや SNS を活用して山頭火に関連する情報発信を定期的に行うことにより、山頭火ふるさと館へ足を運んでいただけるよう努力しました。また、ふるさと館 PR ポスターの作成・配布や、地域の新聞での企画展記事の連載など、山頭火に興味を持っていただけるような情報発信にも努めました。

(2) 研究・普及事業（資料 9 頁～11 頁参照）

① 関連資料の整理・保存、調査・研究、情報収集活動

山頭火ふるさと館の収蔵資料は、大切に整理・保存しています。

資料については、展示するにあたり学術的な調査・研究を行い、その成果を企画展ごとの図録などで発信しました。

② 企画展

常設展示だけでは十分に紹介できない、山頭火や山頭火を取り巻く人々、自由律俳句の魅力等を観覧者に伝えるための企画展を開催しました。

ア 開館特別企画展「山頭火の句 名筆特選 ～百年目のふるさと～」

10月の開館特別企画展として、山頭火の生涯を①防府時代、②行乞時代、③其中庵時代、④松山一草庵時代の4つの時代に分け、各時代に対応する本人自筆の貴重な掛軸、短冊等の作品を計16点展示し、山頭火の句と生涯を紹介しました。また、隔週土曜日には学芸員によるギャラリートークを開催しました。

イ 企画展「山頭火ふるさと館コレクション展示 ～山頭火の旅空～」

旅の中で俳句を詠むことが多かった山頭火の、空の句を集めて計14点展示をしました。また、同時期の俳人である河東碧梧桐や荻原井泉水の句も併せて展示しました。また、隔週土曜日には学芸員によるギャラリートークを開催しました。

ウ 企画展「山頭火とふるさと防府」

防府で生まれ育った山頭火の、ふるさと防府に対するさまざまな思いを紹介するため、ふるさとに関する俳句や日記の記述、さらにふるさとに住んでいた時期の作品や資料を計12点展示しました。また、隔週土曜日には学芸員によるギャ

ラリートークを開催しました。

③ 企画展関連イベント

ア 山頭火カルタで書き初め大会

1月6日（土）、7日（日）の二日間にわたり、小学生を対象として開催しました。防府市文化協会・山頭火ふるさと会が作成した山頭火いろはカルタを使用し、カルタ遊びをした後、取り札の中から好きな句を一句選んで短冊に書き初めをしました。カルタについては、全員が読み手になり、山頭火の句を声に出して味わってもらいました。

イ 俳句を味わい、旅に出よう ～コレクション展示をより深く味わうために～

2月10日（土）、ギャラリートークの拡大版として開催しました。企画展についてのより深い理解につながるよう、交流室で山頭火や俳人にとっての旅について講義をした後、展示室に移り展示中の作品を、講義内容を踏まえて解説しました。

④ 常設展示

導入展示室と常設展示室では、山頭火の生涯や人間的な背景を紹介するパネルと資料を展示しています。

⑤ 無料ゾーン

「防府ゆかりの文藝家たち」のパネルによる展示のほか、「市民ギャラリー」では、市民の方による版画絵葉書、和紙人形などの展示を行いました。また、毎月、「今月の一句」を選んで掲示し、来館者に紹介しています。

交流室には、来館者ノートやアンケートを置いて、感想やご意見を記入していただけるようにしました。また、記念スタンプを設置し、子どもたちにも山頭火に親しんでいただけるよう努めました。

⑥ 教育普及活動

教育委員会主催の菅公みらい塾、松崎小学校五年生・右田放課後子ども教室などの社会見学や、山銀防府はってんクラブ、山口県書道連盟、山口県文化財愛護協会、山口県教育会防府支部、松崎地区三世代交流など、団体観覧者に対して、学芸員の展示解説やふるさと展示交流室での講義を行いました。

⑦ 交流活動

ふるさと展示交流室では、山口県立大学、防府図書館、山口盲ろう者友の会、レキマチ work などさまざまな団体に文化交流活動の場として使用していただきました。

⑧ 本財団内部の連携事業

ア 冬灯り展（アスピラートとの連携）

アスピラートの冬灯り展の一環として、12月15日（金）から17日（日）

の三日間、ふるさと展示交流室のガラス面を使ったプロジェクションショーを開催しました。また、東側のガラス面を利用して影絵の投影も行いました。1月8日（月・祝）まではたこ壺のライトアップも行いました。

イ 街角コンサート（アスピラートとの連携）

ニューイヤーコンサートのうち、1月5日（金）に開催された街角コンサートの1回目が、ふるさと展示交流室にて開催され、多くの来場者でにぎわいました。

（3）管理業務

①施設・設備・備品の維持管理と環境整備

施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を計画的に実施しました。お客様から施設の不備などのご指摘があった場合は迅速に対応し、より分かりやすいご案内に変更しました。また、館内および館周辺の日常的かつ計画的な清掃業務を行うことにより、来館者が安全で快適に利用できる環境整備に努めました。

②保安・警備・防犯対策

山頭火ふるさと館には無料コーナーがあり、誰もが自由に入出りできる環境にあるため、職員による定期的な見回りや監視カメラの活用により、常に的確な館内・館外の状況把握・防犯管理に努めました。

③危機管理

緊急時に適切に対処するため、危機管理体制の整備、消防法等の関係法令に基づく定期訓練の実施により、全ての職員が、緊急事態の発生や危機を迅速に認識し、的確な対応が取れるよう訓練しました。

3 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

第3期指定管理期間の2年目となった平成29年度は、科学をわかりやすく伝えるためサイエンスショーや科学教室などのソフト事業に力を注ぎ、いつも何か新しいものに出会える「スパーク」する科学館となるよう事業運営に取り組みました。

科学館での体験をきっかけに、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう多彩な事業を実施し、市民の皆様が気軽に参加できる機会を提供しました。

（1）教育普及事業（資料12頁～14頁参照）

① 日常事業

当館の常設展示は、光と色の性質や身近な科学現象の原理などを紹介する「光の謎を解き明かせ！」の展示装置をはじめ、地域の自然や、宇宙と太陽の謎や生命の進化の歴史に触れることのできる回廊展示室の展示など、参加体験型の展示を中心に構成されています。これらの展示については、利用者がいつ来館されても安全に楽しく体験できるよう対応しました。

また、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなども継続し、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れました。

さらに、防府市の回廊展示室改修工事によって、回廊展示室内の「生命の回廊」の壁画がこれまで以上に見やすくなったのを機に、描かれている生き物などの名称を表示するとともに、解説シートを作成し、来館者に宇宙の誕生から人類の登場までの長い歴史の概要が分かりやすく理解できるよう工夫しました。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催し、4,613人の参加がありました。「コロコロ自動車」など15種類の工作を実施し、科学的な原理、原則を学習できるよう工夫しました。

また、工作を希望された団体利用の皆様にも工作教室を実施し、18団体、615人が参加されました。

なお、企画展「昆虫わくわく探検館」会期中には、前期・後期各3種類合計6種類の昆虫をモチーフにした科学工作を提供し、サービスの充実とリピーターの確保に努めました。

イ サイエンスショー

楽しみながら科学への興味を深めるため、土・日・祝日に1日3回サイエンスショーを実施するとともに、平日は学校団体などの要望にもお応えしました。

本年度は、276回実施し、6,470人の方々にご覧いただきました。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施しました。科学を掘り下げて学べる少人数の講座で、本年度は化学実験教室「金・銀・銅のネーム入りメダルを作ろう」や電子工作教室「音の信号でスタートする車」など合計43講座を開催し、1,011人の受講者がありました。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、楽しく科学に興味をもつことができたり、科学の奥深さを感じることができる事業を展開しました。一年間を通して、科学に親しむ機会を提供できるように取り組みました。

なお、毎年、春休みに入ってから年度をまたいで8日間開催していた「春休み工作教室」の開催期間を見直し、平成29年度末の「春休み工作教室」を、翌年度明けから開催するようにしたため、3月下旬の春休み期間中、常設展示のみになってしまうことから、ソラールの展示物を体験し、考えることを目的としたクイズラリーや、平日でもサイエンスショーを実施して来館者サービスに努めました。

ア 「春休み工作教室（後半）」

従来から春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。年度

明け4月の春休みには、「カタカタ動くからくり人形を作ろう」など4日間に6種類の工作を行い、1, 114人の来館者がありました。

イ 企画展「昆虫わくわく探検館」

昆虫の多様性や生態などを知っていただくとともに、彼らが持つ驚きの能力を紹介し、「昆虫の新しい一面に気付いてもらう」きっかけづくりを目的として、昆虫わくわく探検館を開催しました。

本展では滅多に見ることのできない珍しい世界の昆虫や、身近にいる山口県の昆虫の標本や解説パネル、体験ができる展示などを行いました。また、「WKT48総選挙」と題し、身近な昆虫48種をピックアップして紹介し、その中からお気に入りの昆虫を投票していただく企画を実施するなど、小さなお子さまから大人の方まで、観察や体験、参加などで楽しみながら昆虫について学べる企画展としました。

会期中8, 851人の来館者で賑わいました。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

公益社団法人発明協会が募集する「未来の科学の夢絵画展」を、例年同様に開催し、1, 088人の来館者がありました。

会期中、イラストレーターわたなべえつこさんによる「似顔絵教室」も実施し、大変盛況でした。

エ 「サイエンスアカデミー2017」

当館開館以来、夏休みに実施してきました「おもしろサイエンス in ソラール」を引継ぎ、平成25年度から「サイエンスアカデミー」として14日間実施しています。当年度も、講師に小・中学校、高等学校、大学などの先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、幅広い分野の39講座を実施しました。また、随時工作も毎日実施しました。

これらの講座は、幼児や小・中学生の科学的好奇心を刺激し、科学のおもしろさを知ってもらうことのできる内容で、企業等から協賛、協力を得て開催しております。

会期中の来館者数は6, 381人でした。

オ 企画展「世にも不思議な映像の世界」

映像を主テーマとし、アニメーションの基となった回転視絵と呼ばれる古典的なものから、映像ショックやリアルモーション等の最新の情報・映像技術を駆使したもの、さらにホラー系の映像まで、映像に関する体験型展示物を数多く展示しました。

会期中は、16, 200人の来館者で賑わい、8月18日（金）に1万人達成のセレモニーを行い、記念品を贈呈しました。

カ 防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しています。本年度は、小学校の部311点、中学校の部162点の作品を展示し、会期中の来館者は1,820人でした。

キ 特別展「スイエンサー ～ぐるぐるつながる探検隊～」

「スイエンサー」は、2009年からNHK Eテレで始まった人気の番組で、日常生活でついつい抱くちょっとしたギモンに、出演者が体当たりで挑み、自分たちの力だけで解き明かしていく、楽しいエンターテイメント番組です。

今回、そのコンテンツを活用した6つのギモン（お題）にチャレンジできる体験型の展示を行いました。

さらに、当館学芸員が考案した問題解決型の体験展示を10種類展示し、来館者にチャレンジしていただきました。

会期中は5,084人の来館者数で賑わいました。

ク 「ソラールのクリスマス2017」

来館者が科学に触れるとともにクリスマスを楽しむ場を提供する毎年恒例の特別企画です。

本年度は、より多くの方々に参加していただけるよう随時参加できる工作を1日2教室に増やし、「コップで作るLEDキャンドル」などの教室と合わせ6種類の工作のほか、サンタとトナカイのショー（サイエンスショー）、発明クラブ員やサイエンスFUNクラブの皆様の作品展示などを行いました。会期中は、1,021人の来館者で賑わいました。

ケ パネル展「すごいぞ！日本の科学者たち」

近年、国際的な賞を受賞された日本人科学者が増えてきており、彼らは世界における日本の科学水準の高さを代表する存在です。

今回のパネル展では、平成の時代に入ってから科学分野のノーベル賞や日本国際賞、国際生物学賞を受賞された日本人科学者の輝ける業績と略歴を、パネルを中心に紹介しました。また、科学者の研究内容やエピソードなどを分かり易く解説した映像による展示も行いました。さらに、近年話題となっている「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して授与されるイグノーベル賞を受賞された日本人研究者の紹介もパネルで行いました。

会期中は、2,092人の来館者がありました。

(2) 情報収集保管事業（資料14頁参照）

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像は、デジタルデータとして保管に努めました。また、9月に発生した巨大フレアに関連した資料を収集し保管するとともに、

報道からの問い合わせにも対応しました。

(3) 啓発調査研究事業

企画展の事前調査や、科学事業及びサイエンスショーに関する研修会などに職員を派遣し、ネットワークの強化や専門職員としての人材育成に努めました。

また、科学教室や工作などの教材開発にも取り組みました。

さらに、防府市による企業版ふるさと納税による資金で、平成30年度秋に開催予定の企画展「ネイチャーテクノロジー（仮称）」や、セルビアとの交流事業の一環で平成30年度冬に開催予定の「ニコラ・テスラ展（仮称）」に関連した展示物等の調査研究も行いました。

(4) 学校連携事業及び外部連携事業（資料14頁～19頁参照）

① 学校連携事業

小学校への出前講座などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。

また、博物館実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行いました。本年度は、山口大学4年生1人、理科学外研修として山口短期大学1年生5人、インターンシップとして山口県立大学3年生、山口大学3年生1人、山口東京理科大学3年生1人、宇部高専4年生2人を受け入れました。その他、市内の中学校2校から合わせて5人の職場体験学習を行いました。

さらに、社会体験研修として、県内の小学校から2人、中学校から1人、高等学校から2人の教職員を受け入れました。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができる出前講座などを積極的に実施しました。

また、毎年恒例の発明科学教室や宇宙教室、コズミックカレッジを実施しました。

さらに、防府市観光協会の「まち博プレイベント」への協力として、「見て！さわって！作って！サイエンス体感ツアー in Solar」を開催し、7組の親子が太陽望遠鏡による太陽観察と太陽に関する講座のほか、電子工作を行いました。また、まち博特典として、貴重な収蔵資料の中から虹色アンモナイトの化石や隕石、南極の岩石を展示し、特別にこれらに触れる機会も提供しました。

その他、平成29年度の山口県博物館協会研修会を防府市の加盟館が担当するということから、毛利博物館が幹事館となられ、防府天満宮と当館が協力し、防府天満宮歴史館を会場として10月19日（木）に研修会を開催し、事例発表を行いました。当日の午後からは、オープンしたばかりの山頭火ふるさと館の視察や山頭火の小径の散策、宮市地区での文化遺産を活かしたまちづくりや防府天満

宮の文化遺産の解説など、防府ならではの研修会になるよう趣向を凝らした内容にしました。

(5) 科学教育普及指導員派遣事業

防府市内の公民館や児童館などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の元専門職員（9名）が科学教育指導員となり、講座を実施しました。本年度は12回実施し、300人の方に科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

(6) 防府市少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も17年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

一般社団法人山口県発明協会主催の「2017やまぐち未来の科学の夢絵画展」では、1点が優秀賞、8点が佳作に選ばれました。

(7) 科学施設の管理運営

① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された当施設は、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備・運営

平成29年12月から平成30年2月にかけて、ふるさと納税企業版による資金により、回廊展示室の改修工事が行われました。また、常設展示物の新規導入や改修を実施しました。

施設においては、開館から20年が経過し、館内の各制御装置などに大規模更新の時期が到来しているため、防府市への報告を行うとともに、今後の対策を検討してまいります。年度内は、小規模な修繕等を実施しながら、各種設備の点検を定期的に行い、ご来館者に館内外で安全に快適に過ごしていただけるよう維持管理に努めました。

また、本年度も夏の企画展開催中の夏休み期間は休館日を無くし、毎日開館しました。この取り組みは、平成25年度から継続しています。

さらに、平成27年度からの取り組みとして、県内の小中学校に向け年間行事のご案内をするとともに、社会見学の引率教職員を対象とした無料招待券を送付しました。その結果77件232人に招待券を利用していただきました。年間の社会見学の件数は100件で、ほぼ昨年度並みでした。

イ 利用状況（資料20頁～21頁参照）

平成29年度は52,928人の入館者がありました。8月10日（木）には、開館以来の来館者数の累計が100万人を達成しましたので、セレモニーを開催し記念品と花束の贈呈を行いました。

また、館外普及活動として、市内小学校での出前授業や児童館・公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、2,193人の参加をいただきました。入館者及び館外参加者人数は総合計で55,121人になりました。

4 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育や社会教育の学習効果を高めるために、視聴覚教材や機材を整備して、市内の学校など諸教育施設に広く活用していただくことを目標に活動をしました。

(1) 視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料22頁参照）

平成29年8月22日（火）に運営委員会を開催し、平成28年度の事業報告及び決算について、平成29年度の事業推進状況報告及び予算について、更に平成30年度の事業計画についてご審議いただき、活発な意見交換をしていただきました。

機材は、書画カメラ2台と小型スピーカーを購入しました。

教材は、「ストップ！薬物乱用－危険ドラッグの恐怖－」、「マララー教育を求めて闘う少女－」、KAGAYAが制作した美しい映像の「宮沢賢治 銀河鉄道の夜」など、子どもから大人まで視聴できるものや、「ふるさと再生日本の昔ばなしシリーズ」、「道徳・名作シリーズ」など、教育現場や地域の子ども会などで活用できるDVDを、合わせて36本購入しました。

また、自主制作教材として、田中窯業（真山窯）の生産工房と登り窯が防府市指定有形民俗文化財になったことなどを記録する「末田にのこる最後の登り窯」を制作しました。

(2) 視聴覚機材や教材の貸出管理（資料22頁～23頁参照）

視聴覚機材の貸出は、362件、1,701日でした。

視聴覚教材の貸出は、59件、498日でした。また、本年度は教材目録の「追録」を作成し、配布を行いました。

機材・教材の貸出は、昨年度に比較するといずれも減少傾向にあるため、市内小中学校や貸出対象となる団体へ向けたPRを行ってまいります。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映（資料24頁参照）

多目的ホールで、月替わりに、青少年科学館の科学事業の企画目的に沿う教材や、社会見学時期には社会見学に適した教材を上映しました。

クリスマスや春休み期間には、小さなお子様向けのアニメーションを上映しました。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送（資料24頁参照）

防府市小学校教育研究会視聴覚研修部の先生方が、当ライブラリー保有の視聴覚教

材の中から、巡回ビデオ用教材30項目を選定されました。

平成29年6月1日（木）から平成30年2月7日（水）にかけて、市内17小学校で順次ビデオ映画会ができるように、その教材の配送をしました。

（５）講習会の開催（資料25頁参照）

① ビデオ撮影編集講習会

本年度も、ビデオ編集の基本テクニックを学ぶ講習会を行いました。9月27日（水）・28日（木）の2回シリーズで開催し、延べ10人が参加しました。講師は、防府映像サークル等から派遣していただきました。

② タブレット講習会

「タブレット活用講習会」を、昨年度に引き続き開催しました。昨年度は多くの申込みがあり受講できなかった方がいらっしまったため、本年度は2月7日（水）の午前・午後と2回の教室を実施しました。1回目・2回目ともに定員10人の参加がありました。講師は、山口ケーブルビジョンから2人の講師を派遣していただき、初心者向けのわかりやすい講義をしていただきました。

（６）ホームページの充実

ホームページ上での教材目録の検索ページの更新、保守を行いました。

５ 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

（資料26頁～28頁参照）

教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

また、「防府市図書館サービス振興基本計画」や「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用促進や読書活動推進のための施策に取り組みました。

（１）図書館資料・情報サービス事業

① 資料収集業務

図書館資料の選書・収集については、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、司書有資格者を中心に適正に行い、質・量両面の充実に努めました。地域資料、特に防府市関係資料については、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成ができるよう、積極的な収集に努めました。

② カウンターサービス業務

ア 資料提供サービス・貸出業務

窓口カウンターでは、司書有資格者等が、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確・迅速に行うよう努めました。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励に努めました。

イ 情報提供サービス・調査研究相談業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者の調査研究活動への支援業務、資料利用案内、読書相談等のレファレンスサービスを行いました。

また、適当な資料及び情報が即刻提供できない場合の対応として、他の図書館や関係機関等に照会したり利用者をそれらの機関へ案内・紹介するレフェラルサービスを行いました。

さらに、レファレンスサービスの拡大と充実を図るため、専用のパソコンにより約200万冊のデジタル化資料が利用できる、国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧・複写業務を、7月5日（水）から開始しました。

毎月「新刊紹介」を発行し、新着図書案内やパスファインダー（テーマ別資料利用案内）、「行政関係図書紹介」を作成・更新、これらをホームページにも掲載して、資料の利用促進に努めました。

児童カウンターでは、資料利用案内・読書案内等の業務を行い、子どもの読書活動の支援に努めました。

利用者とのコミュニケーションを図る、フロアワークの強化にも努めました。

③ 資料管理業務

ア 資料の受入れ・目録整備業務

資料管理業務全般を司書有資格者が監督し、資料の受入れに際しては受贈資料も含めて、統一的・継続的に管理するための迅速・正確な組織化・装備に努めました。

資料受入れと同時に、日本目録規則に基づくコンピュータ目録を作成し、事務用目録・OPAC（オンライン閲覧目録）の内容整備・充実に努めました。

イ 資料の分類・書架管理業務等

資料の分類は日本十進分類法新訂8版に基づき適切な書架分類と配列を行い、常に書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料等の迅速な処理に努めました。

ウ 未返却資料の返却督促業務

延滞資料については電話・葉書・Eメール等により返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は速やかに督促を行いました。

④ 移動図書館運行業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に約3500冊の図書を積載し、6コース36ステーションを2週間に1回の周期で巡回しました。

また、次年度のステーションの新設・変更等に備えて12月から具体的な運行見直し作業に取り掛かり、4月から1ステーションを加えて37ステーションとする

ことを決定しました。

⑤ 図書館コンピュータシステム管理業務

図書館コンピュータシステムの様々な機能の効果的・効率的な運用により図書館サービスの強化を図るため、利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳システム、利用者がWeb上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等について案内をしたパンフレット「防府市立防府図書館コンピュータシステム 読書活動推進サービスのご案内」を4月に発行し、ホームページにも掲載しました。

また、視覚障害者用の音声付インターネットサービス端末機を、11月に1台設置しました。

図書館コンピュータシステムの安定した管理・運営体制を維持するため、常時システムリース会社と連絡を取り、細部にわたる点検・調整・整備を実施しました。

⑥ その他の図書館資料・情報サービス業務

ア 団体貸出

市内の小中学校・幼稚園・保育所・認定こども園その他の施設・団体等の読書活動を支援する事業の一環として、貸出文庫等の団体貸出を行いました。

また、市立小中学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した図書館資料の共有化と有効活用を図るため、学校支援図書の実施と貸出体制の整備、システム利用の周知活動に取り組みました。

イ 地域の読書活動支援

市内15ヶ所の公民館に配本所を設置して地域文庫事業の活性化に努めました。

毎月1回開催される、公民館・出張所会議に職員が出席し、地域文庫の有効利用について案内するとともに、諸々の図書館事業についての広報・周知に努めました。

また、行政・公共機関・地域団体等が実施する様々な事業に対し、資料・情報を提供するなどの協力・支援活動を行いました。

ウ 障害者へのサービス

障害者へのサービス向上のため、ボランティアや社会福祉協議会との協働により、点字・音声資料等の整備、充実、広報に努め、障害者を対象とした郵送貸出を行いました。

また、視覚障害者のための音声を使った利用者開放インターネットサービスを、11月から開始しました。

エ 図書館資料の複写サービス

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複

写サービスを適正に実施しました。

オ 防府史料の刊行

「防府史料」第67集『若月保治著 近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』上巻を、3月に刊行し、ホームページにも掲載しました。

⑦ 広報業務

ア 図書館ホームページ

図書館のホームページを適切に管理運営するため、随時正確な情報を更新して内容の整備を図り、電子媒体による資料・情報提供サービスの強化に努めました。

イ 広報紙等・その他のメディア

月刊の広報紙「ほうふ図書館だより」、「ほうふとしょかんこどもしんぶん」、「新刊紹介」を発行し、行事関係チラシをその都度作成しました。

市広報「ほうふ」及び防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」に、毎号定期的に、図書館関係記事を掲載しました。

また地域コミュニティーFMラジオ「FMわっしょい」の『防府市からのお知らせ 情報モリモリ』へ毎月第2・4木曜日に出演するとともに、同局の図書館提供ビブリオバトル告知番組（年3回）や山口ケーブルビジョンのお知らせ番組に出演しました。

ウ 図書館年報

「平成28年度図書館年報」及び子ども版年報の「数字で見る防府図書館（平成28年の統計より）」を5月31日付で発行し、関係各方面に配付、ホームページにも掲載しました。

⑧ 図書館施設利用等の許可業務

研修室他、集会スペースの利用許可等の事務を適正に行い、図書館や市の事業、学習グループ・ボランティアグループが主催する生涯学習活動等のための活用に努めました。

研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放しました。

⑨ 施設管理業務

ア 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

図書館施設・設備・備品の点検管理と日常的な修繕を適切に実施し、恒常的かつ計画的な清掃業務の履行に努めました。

イ 保安・警備・防犯対策

図書館は不特定多数の人が利用し集まる場所で、誰もが自由に入出りできる環境にあることを踏まえ、ルルサス防府施設管理受託業者や警察等と連携・協力して、常時的確な館内の状況把握・防犯管理に努めました。

安全管理上問題がある行為や迷惑行為、不当要求等に対しては、毅然たる態度

で対応しました。

ウ 危機管理

自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理マニュアルや危機管理体制に則って、消防法等の関係法令に基づく施設・設備の定期点検、AEDの点検等を実施しました。10月12日（木）と3月15日（木）、ルルス防府の消防避難訓練に参加し、11月13日（月）深夜から14日（火）未明にかけて、電源設備定期保安点検を実施しました。

（２）集会・文化活動推進事業

① 図書館行事

ア 図書館ボランティア養成講座

図書館ボランティアに必要な基礎知識の習得と技術の向上を図るため、ボランティア養成講座を、2月1日（木）・2月8日（木）・2月15日（木）・2月22日（木）の計4回開催しました。

イ 防府図書館ボランティア連絡会議

利用者サービスの更なる向上を図るため、現在活動中の図書館ボランティア間の連携を深め、現状と課題について意見や情報の交換を行う「防府図書館ボランティア連絡会議」を、1月25日（木）に開催しました。

ウ 防府図書館利用者懇談会

より身近で利用しやすい図書館となるよう、利用者の建設的な意見や提言を聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集して、12月14日（木）利用者懇談会を開催しました。今後のサービスの改善に繋がる、多くの提言・意見をいただきました。

エ 子どもの読書活動に係る諸事業

「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、市の関係各課、小・中・高等学校及び関係諸機関等と連携を密にして、子どもの読書活動の推進を図りました。

a 学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用

市立小中学校の教育課程の展開・学習情報活動に資するため、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用して学校支援図書整備や貸出の促進、学校との連携強化、及び司書教諭や学校司書の研修活動への協力に努めました。

b 子ども図書館員

小学校高学年を対象とした「子ども図書館員」を、8月3日（木）と10日（木）の2回実施、それぞれ9人の小学生が参加しました。

c 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

8月2日（水）から9月30日（土）までを募集期間として、市内の小中学生を対象とした「第5回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を、防府市教育委員会と共催で実施しました。これに先立つ7月2日（日）には、「図書館員による調べる学習に役立つブックトーク」も行っています。応募点数（応募人数）は、小学生45作品（45人）、中学生が20作品（24人）でした。10月27日（金）に教育委員会において審査会を開催、小学生の部で金賞1点・銀賞1点・銅賞2点、中学生の部で金賞1点・銅賞2点を決定し、金賞作品2点を全国コンクールに出展しました。

d 防府図書館ビブリオバトル

小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル（知的書評合戦）」を、5月28日（日）・7月23日（日）・11月13日（月）に開催しました。

e 職場体験・図書館見学等の受入れ

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等について可能な限り受入れをし、図書館事業への理解促進と利用拡大に努めました。

オ 講演会（座談会）

5月28日（日）に開催された「第7回防府市子ども読書フェスティバル」において、那須正幹（児童文学作家・防府市在住）・田頭よしたか（絵本作家・防府市出身）・松本徹（元福音館書店編集長）・落合功（青山学院大学教授）の四氏による講演会（座談会）「絵本『塩田の運動会』ができるまで」を実施しました。

カ 利用者啓発活動

図書館利用に関する啓発活動の一環として、7月1日（土）から8月31日（木）まで、マナーアップキャンペーンを実施しました。これに合わせて、幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」も実施しました。

キ 展示・展覧会

展示コーナー、中央カウンター前、児童カウンター前での月例資料展示、新刊コーナー横、ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、利用者の関心や時宜に即したテーマを選定し実施しました。

展示室では常設展示「上山満之進と三哲文庫」を行いました。

ブラウジングコーナー（新聞・雑誌コーナー）の壁面では、市民の作品展覧会「アトリエぽん小品展」「林茂孝作品展 季節のたより山口」「平成29年度防府市緑化ポスターコンクール入賞作品展」を開催しました。

② ボランティア団体・生涯学習サークル等との協働事業

ア ボランティアと共催の行事

「第7回防府市子ども読書フェスティバル」を、5月28日（日）、実行委員会、ボランティア団体等との協働により開催しました。

「第27回防府図書館まつり」を、10月14日（土）、実行委員会、ボランティア団体等との協働により開催しました。

イ 図書館サークル活動との協働事業

図書館資料を活用し活動する各種サークルの公開事業等を奨励・支援し、その充実・拡大に努めました。また、生涯学習サークルの活動拠点として活動の奨励に努め、図書館における集会・文化活動の推進を図りました。

毎月2回開催される「おはなしでんしゃ」の時間内に、毎回、図書館職員による絵本のブックトークを行いました。

4月27日（木）に開催された「防府図書館利用者・サークル連絡会」の講演会において、図書館職員による種田山頭火に関する資料のブックトークを、また11月16日（木）に開催された研修会において、0～2歳向け絵本と育児書についてのブックトークを行いました。

6月15日（木）と2月26日（月）に開催された「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会において、図書館職員による新刊児童図書のブックトークを行いました。また、11月16日（木）に開催された「学校図書ボランティアネット・防府」と朗読劇ボランティアグループ「さざなみ21」の合同研修会において、図書館職員による新刊絵本のブックトークと山口県の方言に関する学習会を行いました。

8月5日（土）、防府市出身の絵本作家田頭よしたか氏の原画展「絵本作家田頭よしたかのおもちゃばこ展」に合わせ開催された、「防府市母親クラブ連絡協議会」結成40周年記念トークショー・ギャラリートーク「えほんのおじさんとあそぼう」及び子ども工作教室を、同協議会と協働して実施しました。

ウ その他の協働事業

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき同館より寄贈された図書や文書の翻訳作業を、ボランティアと協働して行いました。

また、同市立図書館のおもちゃ・子ども図書館開館に伴う記念式典及び視察研修に、職員2名が参加しました（9月8日（金）～10日（日））。

③ 本財団内部の連携事業

ア 文化事業との連携

7月15日（土）から8月6日（日）までアスピラートで開催された、防府市出身の絵本作家田頭よしたか氏の原画展「絵本作家田頭よしたかのおもちゃばこ

展」に合わせ、図書館所蔵の氏の著作物の展示やブックトーク、ギャラリートーク、ボランティアによるおはなし会、講演会などの連携イベントを実施しました。

10月12日（木）から11月5日（日）までアスピラートで開催された企画展「印象派展 巨匠たちの愛した版画の世界」に合わせ、期間中、図書館とアスピラートで関連の図書館資料を展示し、案内用ミニブック（資料紹介リーフレット）を作成・配布しました。

イ 科学事業との連携

ソラールで開催された企画展「昆虫わくわく探検館」に合わせ、ミニ資料展示「昆虫の世界」（4月19日（水）～6月5日（月））を図書館で開催するとともに、案内用ミニブックを発行し、図書館及びソラールで配布しました。

また、「図書館員による調べる学習に役立つブックトーク」を、ソラールと連携して7月2日（日）に開催し、親子10組が参加しました。

夏休み期間中、ソラールで開催された企画展等を参考にして、自由研究に役立つ図書館資料の展示を行いました。

「紅葉どんぐり便」の受け取り窓口を11月1日（水）から23日（木）まで設置しました。11月19日（日）に特別講座「紅葉教室」に参加、12月5日（火）、ソラールから沖縄に向けて発送しました。このことに関連して、図書館資料の展示、こどもしんぶん号外の発行・配布を行いました。

ウ 山頭火ふるさと館との連携

山頭火ふるさと館の開館に伴い、種田山頭火や郷土の文学者に関する資料・情報等の提供・共有に係る連携強化に努めました。

6 収益事業

チケットの受託販売や、有料駐車場の運営、科学館、山頭火ふるさと館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

（1）文化施設の管理運営

ホールでの式典、研修会や講演会、その他の施設での展示即売会や会議、研修会など、各施設の公益目的以外の利用についても積極的に貸与し、施設の有効利用を図るとともに、地域振興の拠点となるよう努めました。利用者アンケートや市民からの提言などに基づいて、可能な限り各種改善を行い、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

(2) 有料駐車場の管理運営（資料29頁参照）

当年度の利用料金収入は、2,363,700円となり、前年度から約10%減少しました。今年度は隔年で開催される大きな大会等の谷間となっていることから、会館の利用率の低下に連動して減少しました。

出庫車輛が精算待ちで混雑する場合には職員が精算機に配置し、スムーズに会計を終えられるように配慮し、安全で利用しやすい運営に努めました。

機器の管理については、平成12年度に新設して以来更新をしておらず老朽化が進んでいますが、専門業者による定期点検、修理を重ね、維持管理を行いました。

(3) 青少年科学館ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学館にしかないような科学グッズや実験セットなどの販売を行っています。各企画展開催中には、それぞれの企画展の内容に合った、科学により興味を持っていただけるような商品を期間限定で販売しました。

また、「明治150年記念ピンバッジ」や「幸せます」など、山口県や防府市のPRグッズも販売しています。

本年度から、屋外および館内の飲料の自動販売機のマージン制を導入し、収益事業の収入増となりました。自動販売機の設置条件として赤い羽根共同募金への協力を定めており、昨年12月には、社会福祉法人山口県共同募金会防府市共同募金委員会へ売上手数料の5%を寄付しました。

(4) 山頭火ふるさと館ミュージアムショップの運営

受付横のショップで、山頭火の句をデザインしたポストカードや一筆箋、マスキングテープや山頭火キューピーなどのふるさと館オリジナルの商品のほか、山頭火に関わる書籍、山頭火フレーム切手、山頭火像、防府市上下水道局の淡如水など、山頭火ふるさと館来館の記念になるような物品を販売しています。

Ⅲ 理事会、評議員会

1 理事会

(1) 第1回理事会

開催年月日	平成29年5月12日（金）
開催場所	防府市公会堂 第5号室
決議事項	①平成28年度事業報告及び決算について ②規程等の制定及び改正について ③平成29年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

(2) 第2回理事会

開催年月日	平成29年5月30日（火）
-------	---------------

開催方法 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①会長、副会長及び常務理事の選定について

(3) 第3回理事会

決議があったとみなされた日 平成29年7月24日(月)
開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づくみなし決議)
決議事項 ①事務局長兼防府市公会堂館長の選任について

(4) 第4回理事会

決議があったとみなされた日 平成29年8月25日(金)
開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づくみなし決議)
決議事項 ①山頭火ふるさと館長の選任について
②規程等の改正について
③平成29年度補正予算について

(5) 第5回理事会

開催年月日 平成30年2月8日(木)
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①平成29年度補正予算(第2号)について
②平成30年度事業計画書及び収支予算書等について
③従たる事務所の設置について
④規程等の改正について
⑤平成29年度第2回評議員会の招集について
⑥事務局長兼防府市公会堂館長の選任について

(6) 第6回理事会

決議があったとみなされた日 平成30年3月4日(日)
開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づくみなし決議)
決議事項 ①規程の改正について

2 評議員会

(1) 第1回評議員会(定時評議員会)

開催年月日 平成29年5月30日(火)
開催場所 防府市公会堂 第5号室
決議事項 ①平成28年度事業報告及び決算について
②理事・監事の選任について

(2) 第2回評議員会

開催年月日 平成30年2月23日(金)
開催場所 防府市公会堂 第5号室

決議事項

- ①平成29年度補正予算について
- ②平成30年度事業計画書及び収支予算書等について
- ③定款の変更について

事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年5月

公益財団法人 防府市文化振興財団